

配布先：岡山県政記者クラブ、岡山市政記者クラブ
倉敷記者クラブ

発表日	令和8年3月27日
発表者	国土交通省 中国地方整備局 岡山河川事務所

水害リスクマップに内水被害が追加されてリニューアル ～内水・外水の浸水リスクを一体的に表示して防災・減災対策を推進～

この度、岡山河川事務所の管理する吉井川、旭川、高梁川の三河川を対象に、内水と外水による被害を統合した「**内外水統合型水害リスクマップ**」を新たに公表します。

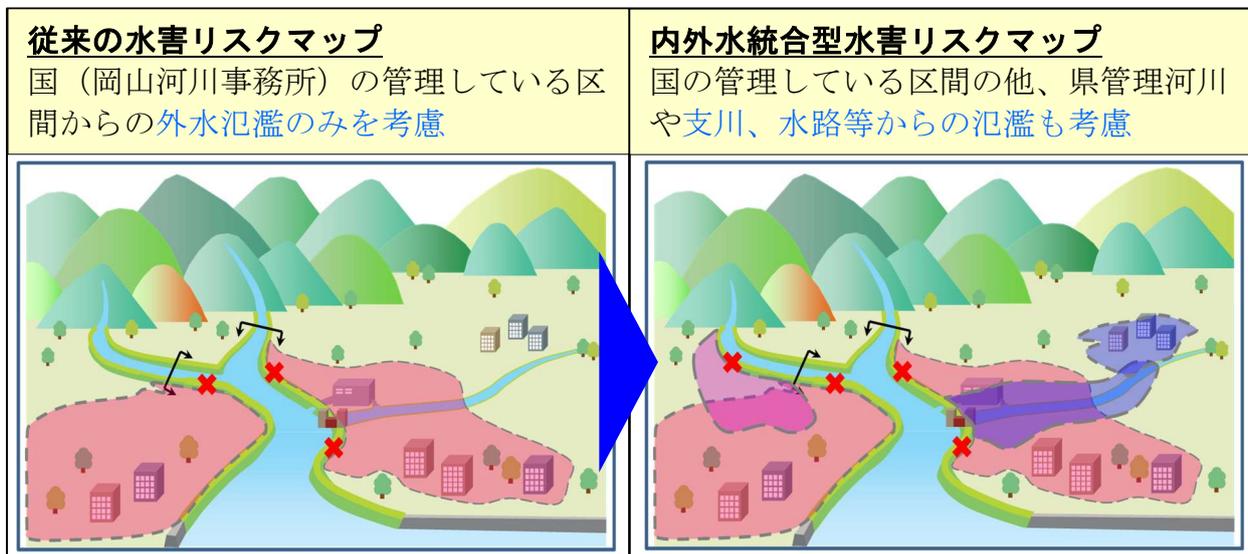
公表予定日時：令和8年3月31日(火)10:00

水害リスク情報の充実により、地域の皆様や自治体の防災・減災対策の一層の充実やより適切な避難計画の策定に貢献し、流域治水の取組を推進していきます。

今後、より詳細なデータを用いた解析結果を公表する予定です。

リニューアルのポイント

- ✓ 管理者(国、県、市町村)が異なる河川の浸水リスクを**一体的に表現!**
- ✓ 地域で起こりうる様々な氾濫形態の浸水リスクを**一体的に表現!**



内外水統合型水害リスクマップは、岡山河川事務所のウェブサイトにて閲覧することができます。

URL：<https://www.cgr.mlit.go.jp/okakawa/ryuukichisui/project.html>

※令和8年3月31日(火) 10:00 掲載予定

問い合わせ先：国土交通省 中国地方整備局 岡山河川事務所
副所長 阿部 智
(担当) 流域治水課長 田宮 子良
TEL 086-223-5101 (代表)
086-223-5187 (流域治水課直通)
URL <https://www.cgr.mlit.go.jp/okakawa/>

従来の水害リスクマップからの更新点

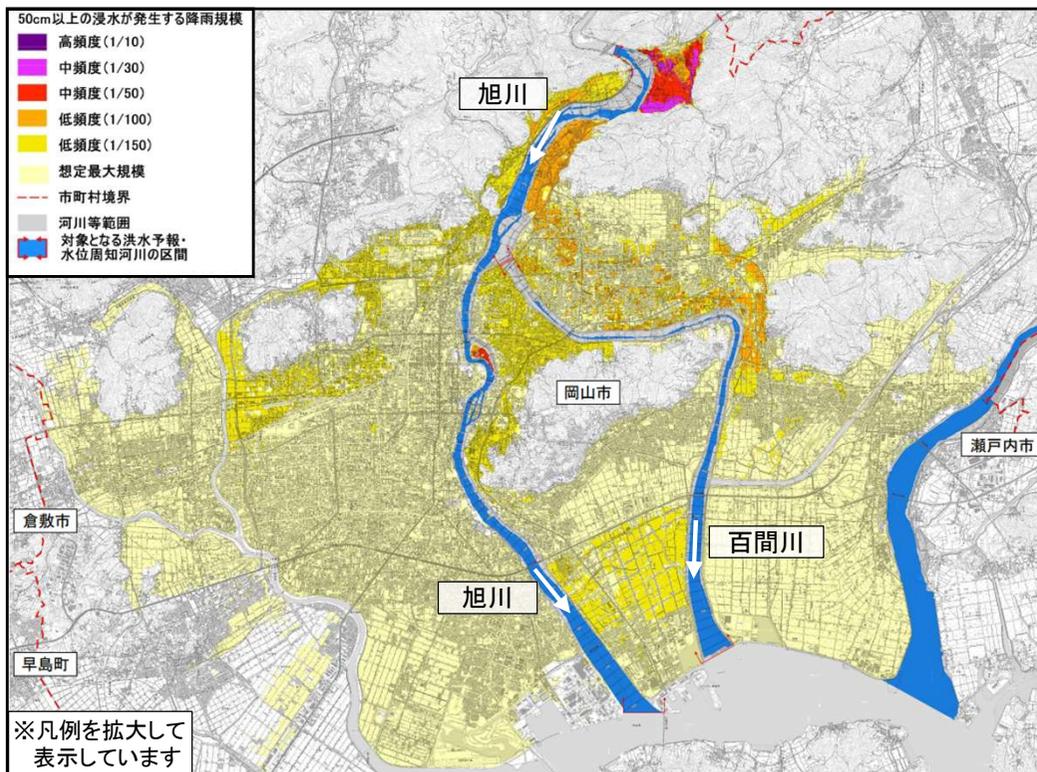
○ 水害リスクマップ

浸水の生じやすさを見える化するため、確率規模別（1/10, 1/30, 1/50, 1/100, 1/150）の浸水想定図として作成した他、浸水の発生頻度を見える化するため、これら確率規模別の浸水範囲を色分けして1枚の図面にて発生頻度として図化したものです。

浸水の生じやすさや発生頻度を見える化することにより、流域治水の進展に資する防災・減災のためのまちづくりや住まい方の工夫、企業の立地選択、企業におけるBCP（事業継続計画）の作成、さらには詳細な避難計画の検討に活用されることを期待するものです。

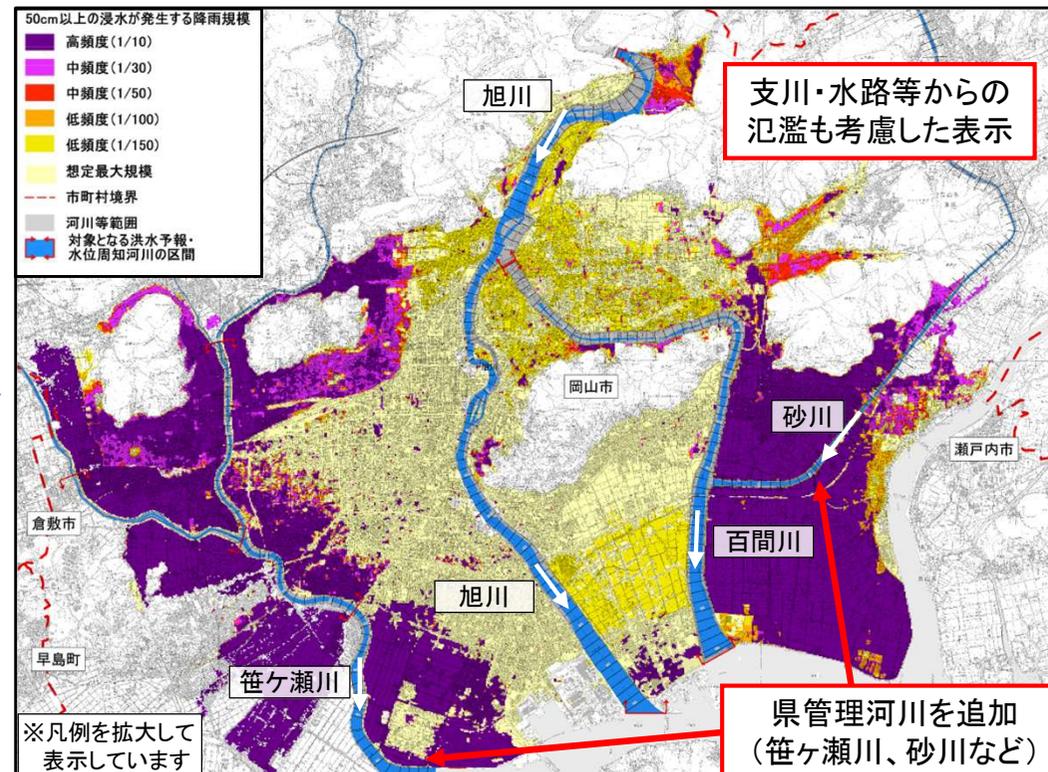
○ 内外水統合型水害リスクマップ

これまでの水害リスクマップは国の管理する河川からの氾濫を表示していましたが、新たに県の管理する河川、支川河川や水路、下水道等からの氾濫を含めた形（内外水統合型）で公表します。今まで浸水リスクが示されていなかった地域についても浸水リスクが可視化されるため、避難計画の検討等に役立てられる範囲が拡大します。



従来の水害リスクマップ

(旭川水系 浸水深50cm(床上浸水相当)以上の浸水が想定される範囲)
国(岡山河川事務所)の管理する区間からの外水氾濫のみを考慮



内外水統合型水害リスクマップ

(旭川水系 浸水深50cm(床上浸水相当)以上の浸水が想定される範囲)
国の管理する区間その他、県管理河川や支川、水路等からの氾濫も考慮

※洪水浸水想定区域図との違い

洪水浸水想定区域図は、水防法第14条に基づき、洪水時の円滑かつ迅速な避難を確保し、又は浸水を防止することにより、水災による被害の軽減を図るため、当該河川が氾濫した場合に浸水が想定される区域を指定したものです。最悪の事態を想定して命を守るという考え方で避難計画の検討や避難行動の判断に活用されることを期待したものです。

※確率規模：毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率。確率規模1/100の洪水の場合、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100 (1%)となる洪水。